

2026年6月30日

報道関係者 各位

兵庫医科大学

兵庫医科大学病院に「漢方診療センター」新設 漢方医学と西洋医学が融合した診療体制で、総合的な漢方診療の提供へ

兵庫医科大学病院（所在地：兵庫県西宮市、病院長：池内 浩基）では 2026 年 4 月 1 日から、漢方専門医・指導医で漢方関連学会の理事長や理事などを歴任してきた医師が中心となり、漢方医学を主体とした診療をおこなう「漢方診療センター」を新たに開設しました。同センターでは、西洋医学的な薬剤では効果が見られなかったり、西洋医学では原因不明とされたりする症状・病態に対し、漢方を用いてアプローチします。伝統的な漢方医学と、大学病院の高度で先進的な西洋医学を融合した診療体制で、患者さんに合わせた総合的な漢方診療の提供を目指しています。診察の予約は、院内の他科や地域のかかりつけ医からの紹介で受け付ける他、入院中の患者さんについては、主治医と連携しながら診療にあたります。また、健康保険が適用される医療用漢方製剤 148 種類すべての処方が可能です。

漢方医学では、患者さんの体の一部分だけでなく、体質や生活習慣、心と体の状態を全体的に捉え、症状の緩和を図ることを重視します。新たに開設した「漢方診療センター」では、当院の各診療科や薬剤師などと連携しながら、現代医学とは異なる漢方医学の伝統的な診断法（脈診、舌診、腹診など）や漢方薬を活用し、患者さんの症状緩和や治療効果の向上を図ります。また、当院では西洋医学的な病態も考えながら、漢方薬による治療を試みています。

漢方医学の研究では、臨床データの蓄積や作用機序の解析が進み、これまで医師の経験や患者さんの主観に頼る部分が大きかった治療効果について、科学的に説明しようとする試みが増えています。その結果、漢方医学への理解が医療現場で広がりつつあります。

高度先進医療を提供・開発できる設備や能力を有する病院と、医学研究や先進医療の発展に取り組む大学が連携し、漢方診療や生薬・漢方薬に関する教育・啓発を推進することも、同センターを開設した目的の一つです。

同センターの運営を通じて、高度な西洋医学と伝統医学の双方に精通した医師を育成するとともに、漢方診療に関する院内外の連携体制を構築し、地域医療機関との連携を強化していきます。

■兵庫医科大学病院「漢方診療センター」の概要は、以下のとおりです。

〔診察日〕 毎週水曜日と木曜日の午後

〔診察室〕 ペインクリニック部 1 診（2026 年 9 月の新病院棟開院後は、漢方診療センター「漢方診療外来」となります。）

〔担当医〕 漢方診療センター長 中島 正光

〈資格〉 日本東洋医学会漢方専門医・指導医

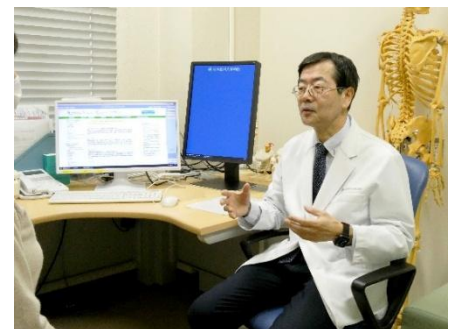
総合内科専門医

感染症専門医

呼吸器専門医・指導医

認定健康スポーツ医

産業医



漢方診療センター長の中島正光医師

【取材に関する問い合わせ】

兵庫医科大学 総務部広報課 [電話番号] 0798-45-6655 [E-mail] kouhou@hyo-med.ac.jp